



50期 環境活動レポート

(2014年5月1日～2015年4月30日)

2015年9月28日発行

マツダオートザム福山南
北村自動車株式会社

1. 事業者名及び代表者

マツダオートザム福山南
北村自動車株式会社
代表取締役 北村 陽子

2. 所在地

広島県福山市曙町4丁目8番28号



3. 事業内容

マツダブランドの乗用車・商用車の新車販売
中古自動車販売
部品・用品などの販売
自動車整備業務
損害保険代理店業務 等

4. 事業の規模

従業員数	29人
年間売上高	99506万円
年間販売台数	412台
年間整備入庫台数	10,262台

5. 対象範囲

・対象事業所 本社、駐車場、倉庫

・対象活動範囲

マツダブランドの乗用車・商用車の新車販売
中古自動車販売
部品・用品などの販売
自動車整備業務
損害保険代理店業務

6. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 常務取締役 北村 太郎

EA21環境推進事務局 工場長 水田 誠
サービス主任 元岡 進

TEL: 084-954-7770

企業理念

私たちは、地域社会に感謝の心を忘れず、常に貢献します
私たちは、係わるすべての人が、より幸せになるために行動します。
私たちは、誇れる自分になり、明るく、楽しく、協力して働きます。

環境理念

環境問題は、自動車販売、整備に携わる事業者として重要課題です。二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の削減に取り組めます。また環境にやさしい自動車の販売、エコ整備の普及・促進を通じて燃費の向上による排出ガスの清浄化、リサイクル部品の積極的な活用による資源の有効利用を行い社会に貢献します。

行動指針

- 1 環境目標・環境活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
 - ①自社での電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
 - ②資源の有効活用のため、廃棄物の分別廃棄とリサイクルパーツの活用に努めます。
 - ③水資源有効活用のための節水に努めます。
 - ④自動車販売業務において、燃料消費効率のよい車種の販売に努めます。
 - ⑤自動車リサイクル法に従い、適切なリサイクルに努めます。
 - ⑥お客さまの自動車環境性能及び安全性維持のための定期点検の促進に努めます。
 - ⑦グリーン購入を積極的に活用できるように努めます。
- 2 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 3 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

平成25年5月1日
マツダオートザム福山南
北村自動車株式会社
代表取締役

北村自動車株式会社の環境目標と取組方針

- ・電気とガソリン使用量の削減
- ・産業廃棄物排出量の削減とリサイクルパーツの活用
- ・水使用量の削減
- ・エコカー販売
- ・自動車リサイクル法による処理
- ・環境汚染防止整備(定期点検)の促進
- ・グリーン購入の促進

1. 環境負荷の現状

項目	単位	2011年度	2012年度	2013年度
二酸化炭素排出量	kg-co2	110,774	110,918	115,059
電力使用量	MJ	806,797	855,810	871,243
ガソリン使用量	MJ	823,107	77,389	823,145
産業廃棄物排出量	t	17.2	18.9	9.8
水使用量	m ³	478	669	635

※購入電力のCO2排出係数(中国電力平成20年度)0.000674(t-co2/kwh)

2. 環境目標

項目	単位	2013年度実績 (基準年度)	目標		
			2014年度	2015年度	2016年度
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-co2	115,059	113,908 △1%	112,757 △2%	111,607 △3%
電力使用量 (削減率)	MJ	871,243	862,530 △1%	853,818 △2%	845,105 △3%
ガソリン使用量 (削減率)	MJ	823,145	814,913 △1%	806,682 △2%	798,450 △3%
産業廃棄物排出量 (削減率)	t	9.8	9.75 △0.5%	9.7 △1%	9.65 △1.5%
水使用量 (削減率)	m ³	669	666 △0.5%	663 △1%	660 △1.5%

※購入電力のCO2排出係数(中国電力平成20年度)0.000674(t-co2/kwh)

1. 電気とガソリン使用量の削減

1) 電力使用量の削減

電気のメーターの確認・記録・報告をする。
事務所の温度設定を冷房28度、暖房を20度にする。
帰る前にPCの電源を切る
西日対策(ブラインドを下げる)

2) ガソリン使用量の削減

代車の満タン貸し出し、満タン返しを励行する。
(代車のガソリン量の計測)



温度設定



温度計



西日対策の
ロールスクリーン

2. 産業廃棄物排出量の削減とリサイクルパーツの活用

ごみの分別をする
リサイクルパーツを活用する
段ボールの再使用
保険の約款をWEBにすることを勧める



ゴミの分別



3. 水使用量の削減

水道メーターの確認・記録・報告をする。

4. エコカー販売

ディーゼル車の販売を増やす
試乗車を増やし、エコカーの試乗を進める
スカイアクティブ車やエコ軽自動車の販売に努める

5. 自動車リサイクル法による処理

自動車のリサイクル法に従い、適切なりサイクルをする。

6. 環境汚染防止整備(定期点検)の促進

車検の入庫促進をする。
法定1年点検の入庫促進をする
6ヶ月点検の入庫促進をする。
タイヤの空気圧チェックを入庫車両について行う
エコバッテリーの販売



空気圧チェック

7. グリーン購入商品の購入

グリーン購入の理解を深める
VICS付きカーナビゲーションの販売

1. 2014年度運用期間の実績

項目	単位	目標	実績	目標達成率	評価
二酸化炭素排出量	kg-co2	113,908	109,446	4.0%	○
電力使用量	MJ	862,530	884,405	-2.5%	△
ガソリン使用量	MJ	814,913	725,723	11.0%	○
産業廃棄物排出量	t	9.8	10.4	-6.1%	△
水使用量	m ³	663	645	2.8%	○

※購入電力のCO2排出係数(中国電力平成20年度)0.000674(t-co2/kwh)

※目標達成率=(目標-実績)÷目標×100

※評価基準: 達成率0%以上○、0%未満~-10%△ -10%超×

2. 取組結果の評価及び次年度の取組み内容

1、電気とガソリン使用量の削減

工場の作業性向上ため、LED,蛍光灯を増設したために、電気量が増えてしまった。
冬場にかけて気温低下にともない 電気使用量が昨年に比べて増えてしまった。
次年度も電気とガソリン使用量の削減に努める。

2、産業廃棄物排出量の削減とリサイクルパーツの活用

入庫台数の増加に伴い、全体的に増えていった。
ただ、リサイクル部品の購入量(額)も増加しており、資源の有効活用も進んでいる。
タイヤの大型化にともない廃タイヤ重量が増加してしまった。
次年度も産業廃棄物の削減に努める。

3、水使用量の削減

毎月の目標を立て、実践をしていけた。次年度も節水に努める。

4、エコカー販売

エコカーの試乗車を増やし、試乗件数が増えて販売の増加につながった。
次年度も販売目標を定めエコカー販売に努める。

5、自動車リサイクル法による処理

自動車リサイクル法を遵守した活動を継続する。

6、環境汚染防止整備(定期点検)の促進

販売時にメンテナンスパックの販売が増えて、点検の増加につながった
次年度は車検、点検の入庫目標を定めを促進していく。

7、グリーン購入の理解と推進

VICS付きカーナビはグリーン購入にあたることわかり、販売を推進していく。

1. 環境関連法規

適用される主な環境関連法規は以下のとおりです。

環境関連法規	要求事項	結果
廃棄物処理法	・廃棄物(汚泥、廃油、廃プラスチック、ゴムクズ、金属クズ)の適正処理	○
自動車リサイクル法	・使用済自動車の適正処理	○
消防法	・少量危険物(貯蔵所・取扱所)の届出	○

2. 違反・訴訟の有無

定期的遵守評価の結果、環境関連法規の違反はなかった。
 なお、関係当局よりの違反の指摘や訴訟は過去3年間なかった。



代表者による全体の評価と見直しの結果

環境目標達成状況にはバラツキがあるが、目標達成のための諸活動は定着してきた。
 このような状況を踏まえ以下のとおり決定した。

- ・ 環境方針の変更はなし
- ・ 環境目標は、エコカー販売の年間数値目標を新たに「J」設定するなどの変更を加える
- ・ 環境経営システムの変更はなし